

学 科 試 験 問 題

国語(現代の国語、言語文化) (60 分)

注 意 事 項

- 1 試験開始の指示があるまで、この冊子の中を見てはいけません。
- 2 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。
 - ・氏 名 欄 氏名及びフリガナを記入しなさい。
 - ・受験番号欄 受験番号(数字)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしなさい。
- 3 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせなさい。
- 4 解答は解答用紙の解答欄にマークしなさい。例えば、

10

 と表示のある問いに対して③と解答する場合は、次の(例)のように解答番号

10

 の解答欄の③にマークしなさい。解答用紙に、正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨

- 5 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけません。
- 6 試験開始後、この問題冊子の下欄にも受験番号を記入しなさい。
試験終了後、解答用紙及び問題冊子は回収します。

受験番号

第一問 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部を省略した所がある)

① 気象庁が発表する気温とは地上1・二五メートルの高さにある空気の温度です。「空気の」とわざわざ言ったのは、現実にはわれわれが感じる熱さには直射日光による熱さもあるからです。この気温の定義では温度計は直射日光を浴びてはいけません。そうかといって温度を測る空気自体は直射日光を浴びている地面の上方ということであり、日陰の地面の上方ではない。気温とは、熱放射を防護した環境におかれた温度計で測った、熱放射で温まった空気の温度ということです。「気温」と一言で言っても結構ややこしいのです。

② 直射日光を浴びたアスファルト、金属、岩石、陶器、などは触るとやけどするほどに高温になっているときがあります。五〇度以上など a さらです。すなわち同じだけの太陽光線のもとでも、それを浴びて吸収する物体の性質によって温度が違うのです。 **X** さらに空気はこうした太陽光の吸収物体ではありませんから、空気の温度は太陽光線によって直接熱せられるのではなく、地面などの太陽光吸収物質によって加熱されたものです。空気中で遠方が見えることからわかるように空気は太陽光線に対しては透明であり、太陽光線を吸収して気温が上昇することは通常ありません。例外は黄砂や火山灰やスモッグなどで見通しが効かないような場合です。

③ 地面は放射で加熱され、空気はそれとの接触で加熱されます。最近「散歩に連れている犬は地面に近いので、①犬の感じる温度は人間が感じる一メートルから二メートル上方の温度より暑いから注意」と言われているのはこのためです。気体の中の熱の伝わり方には対流と伝導があります。空気では対流が主で、これが「かげろう」という現象を引き起こしています。対流は地面との接触で熱くなった空気の「かたまり」が浮力で上昇し、その跡に周囲から冷たい空気が入り込んでまた温められて入れ替わるという現象です。すなわち、熱は空気の運動を通じて運ばれます。この渦のような細かい流れが無数にある空気を通して見ると、温度による光の屈折率のゆらぎのために背景の像が「かげろう」となって揺らいで見えるのです。温度勾配こうはいが激しく「かげろう」が盛んな高さ避けるとするのが「地上1・二五メートルから二メートル」の空気の温度を気温と定義している理由だと思えます。

④ 熱源の太陽光は上からくるのに、空気は地面(あるいは他の吸収体)によって下から温められるのです。ここで「高温の吸収体の温度」といっても吸収体全体が同じ温度になるわけではありません。地面の中は涼しいですが、空気と接触する薄い表面が問題なのです。(中略)

⑤ 太陽熱は晴天が続けば、毎日毎日供給されます。その日に入った熱を翌日に持ち越すと猛暑の原因になります。しかし酷暑の砂漠でも夜は極寒になるように、地面は *****。このドライな性格をマスクして日本のようにマイルドな気候にしているのは空気中の水蒸気の ⑦ **カイ入** です。

⑥ マイルドな気候を ⑧ **イ持** するとは昼夜の気温の激変を緩和することですが、その場合、空気に移った熱を翌日まで持ち越さないで冷やしてやらなければなりません。このやり方には温度の異なる空気が移動して混じり合うとか、それこそ低気圧、高気圧の気団の運動など多様です。しかし最終処分は放射で宇宙空間に熱を捨てなければならない。陸上・海洋まで含めて熱のさまざまな複雑なたらい回しはありますが、最後は入った分だけ、地球外に出して

最終処理しなければならないのです。そのバランスが崩ればそれこそ異常気候です。可視光の太陽光線が入ったエネルギーを、けつきよくは可視光線と波長は違いますが、やはり放射エネルギーにして宇宙空間に捨てなければならぬのです。

7 可視光が入った太陽光線は、地表で熱化して最終的には赤外線に変わり地球外に放出されます。しかし、二酸化炭素などの温暖化ガスがその流れに渋滞をひき起こすために、温暖化が起こるのです。ガラスも大気のように可視光を通過させますが赤外線は通過しにくい。太陽熱で内部を温める、ガラスで覆われた温室という装置はちょうど大気の温暖化と同じ効果をつかっています。したがって、気候温暖化のメカニズムを「温室効果」と呼んでいます。これは今では世界市民の常識です。

8 Y 肝心の温室が温まるのは、この「温室効果」ではないのです。地面の熱が大気中にひろがる理由は初めは「かげろう」にみられるような対流によつてであつて、可視光がいつぱんに赤外線に変わるのではないからです。温室では空気の対流や拡散または移流（風など）で熱が移動します。温室の外壁は、そういった空気や物体の熱が室外に対流・拡散や移流で逃げていたり、外から冷気が入って冷やされるのを阻止しているのです。それが⑨シヨウウ⑩に可視光も赤外線も通過させる「ガラス」で覆われた「温室」を作つて実験しても普通のガラスの場合と同じように温室内の温まり方は変わらないということが示されています。

9 温室などとは比べ物にならないくらいに大きな体積の大気を対象にすれば「赤外線の遮蔽云々」が主な効果になるのですが、温室や「硝子戸の中で」の縁側といったスケールでの温まり方は「赤外線の遮蔽云々」とは無関係な、「外の冷気の遮断」こそが主な理由なのです。冬の陽だまりの縁側のぬくもりが硝子戸による「外気の遮断」で保たれているというほうがたしかに実感があります。縁側で言われてみれば、それが「常識」だとすぐわかるのですが、「温室」という常日頃は実感のないものに譬えられるとつい騙されてしまうのです。

10 大気で起こる、いわゆる「温室効果」が温室では起こらないことは専門家の間では、よく知られていたようです。一九〇九年、ウッドは可視光も赤外線も同じように通過させる透明な岩塩を使つて示しました。また一九六三年頃の教科書には温室の温暖化は「温室効果」の四、五倍も大きいことも書かれています。

11 地球温暖化が政治問題化したのは一九八〇年代に入ってからです。そのなかで「温室効果 (greenhouse effect)」という表現が理解を拡げるキーワードとして一人歩きましたでしょう。専門家の間の学術用語が世界市民の常識用語に転化した時に、「温室」は比喻だというただし書きが外れたようです。そして専門家もその流れに抗しきれず、そのまま放置したのでしょう。たしかに「赤外線云々」というメカニズムは大気では正しいのです。嘘は誰も気にもかけない「温室の温まるメカニズム」に押し込めればいい。「温室」さえ耐え忍べば済む話というわけです。ただし一部の詮索好きの人の間にはきちんと「②温室は温室効果で温まるのではない」という真実が忘れられないようにしてほしいものです。

問1 二重傍線部㉞㉟のカタカナにあてはまる漢字と同じ漢字を、カタカナの部分に用いるものはどれか。それぞれ後の㉞㉟の中から一つ選びなさい。

㉞ カイ入 解答番号 1

㉟ 駅のカイ札口を通る

① 今日はカイ晴だ

② 知人を紹カイする

③ 本カイを遂げる

㉞ イ持 解答番号 2

㉟ 平イな言葉を使う

① 明治イ新について学ぶ

② 自然の脅イに立ち向う

③ 法律にイ反する

㉞ ショウ扱 解答番号 3

㉟ 対ショウ的な性格の兄弟

① 補ショウを受ける

② 無理をショウ知で頼む

③ 無実をショウ明する

問2 空欄

X

・

Y

に入る言葉として最も適当なものを、それぞれ後の①～③の中から一つ選びなさい。

X

 解答番号

4

- ① たとえば ① そして ② あるいは ③ だから

Y

 解答番号

5

- ② かつ ① なぜなら ② ところが ③ さて

問3 波線部 a「ざら」・b「詮索」の意味として最も適当なものを、それぞれ後の①～③の中から一つ選びなさい。

a ざら 解答番号

6

- ① ありふれている
② めったにない
③ 当然の結果だ
④ 予想できる

b 詮索 解答番号

7

- ① 疑い深いこと
② 探し出すこと
③ うわさを流すこと
④ 細かく調べること

問4 傍線部①「犬の感じる温度は人間が感じる一メートルから二メートル上方の温度より暑い」とあるが、その理由として最も適当なものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。

解答番号 8

- ④ 地面近くの空気は、太陽光線によって直接熱せられているから。
- ① 黄砂や火山灰などによって、気温がさらに上昇しやすくなるから。
- ② 放射による地面の熱に、それによって加熱された空気の熱が加わるから。
- ③ 地面との接触で熱くなった空気の「かたまり」が、浮力で上昇してくるから。

問5 空欄 *に入る言葉として最も適当なものを、後の①～③の中から一つ選びなさい。

解答番号 9

- ④ 熱せられにくいのが冷めやすい
- ① 熱せられやすいが冷めやすい
- ② 熱せられにくいのが冷めにくい
- ③ 熱せられやすいが冷めにくい

- 問 6 傍線部②「温室は温室効果で温まるのではない」とあるが、実際の温室はどのようにして温まるのか。その説明として最も適当なものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。

解答番号 10

- ① 太陽光線が、温室の外壁を温めて、その熱が室内に伝わることで温まる。
 ② 二酸化炭素などのガスが、室外への熱の放出を妨げることで温まる。
 ③ ガラスが、赤外線を遮蔽して、室外に熱を逃がさないことで温まる。
 ④ 外壁が、室外への熱の放出や、外からの冷気の進入を妨げることで温まる。

- 問 7 本文を大きく四つに分ける場合の分け方として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

解答番号 11

③	②	①	④
1 2	1 2	1 2 3 4 5	1 2 3
3 4	3 4 5 6 7	6 7	4 5 6
5 6	8 9	8 9	7 8 9
7 8 9 10 11	10 11	10 11	10 11

問 8 本文の内容に合致するものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。

解答番号 12

- ① 熱放射を防護した環境におかれた温度計で測った、熱放射で温まった空気の温度をさして気温という。
- ② 吸収体全体が同じ温度になることで光の屈折率がゆらぎ、背景の像が揺らいで見えるのが「かげろう」である。
- ③ 昼夜の気温の激変を緩和するには、可視光の太陽光線が入ったエネルギーを宇宙に捨てず貯めておかなければならない。
- ④ いわゆる「温室効果」が温室では起こらないことが専門家の間で知られるようになったのは、二十一世紀になってからである。

第二問 次の各問いに答えなさい。

問1 次の傍線部に相当する漢字を、後の①～③の中から一つ選びなさい。

解答番号 **13**

信頼できる後輩を、後任にア_レてる。

- ① 当 ① 充 ② 宛 ③ 応

問2 次の傍線部の読み方を、後の①～③の中から一つ選びなさい。

解答番号 **14**

砂利道でころんだけがをする。

- ① さり ① すなり
② じゃり ③ かざり

問3 次の文の空欄に入る言葉として最も適当なものを、後の①～③の中から一つ選びなさい。

解答番号 **15**

お医者さんなのに薬を飲みわすれるなんて、
[] 屋しろばかまの白袴だね。

- ① 水 ① 酒 ② 魚 ③ 紺

問 4 「遭難」と熟語の構成が同じものとして最も適当なものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。

解答番号 **16**

- ① 未完 ① 公私 ② 除去 ③ 就職

問 5 傍線部の四字熟語の使い方として最も適当なものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。

解答番号 **17**

- ① 彼らの考え方は日進月歩だ。
② 日進月歩に姿を変える。
③ 日進月歩の努力が実を結ぶ。
④ 科学の発展は日進月歩だ。

問 6 傍線部が連体詞であるものとして最も適当なものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。

解答番号 **18**

- ① あかるく優しい性格の人物。
② あらゆる種類の貝殻を集める。
③ あらたな冒険を求めて旅立つ。
④ あたかも兄弟のように仲がいい。

問7 「向上」の類義語として最も適当なものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。
解答番号 **19**

- ① 進歩 ① 発達 ② 拡大 ③ 順調

問8 「紅一点」という言葉の意味として最も適当なものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。
解答番号 **20**

- ① 美しく着飾ること ① 完成前に最後の仕上げをすること
② 春が訪れること ③ 大勢の中に一人だけ女性がいること

問9 次の空欄に入る言葉として最も適当なものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。
解答番号 **21**

実験の失敗から新素材を開発できたのは、けがの と言えるだろう。

- ① 光明 ① 功名 ② 巧妙 ③ 高名

問 10 他と書かれた時代が異なる作品を、次の①～③の中から一つ選びなさい。
解答番号 **22**

- ① 『方丈記』 ① 『枕草子』 ② 『徒然草』 ③ 『平家物語』

第三問 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(設問の都合上、一部を省略した所がある)

アメリカ人がいちばん好きな言葉のトップに来るのは文句なしに「自由」だ。「自由」はなにものにもかえがたい価値である。それを最も象徴的に示しているのが、①ニューヨークの港に立つ自由の女神の像である。この像はヨーロッパから渡ってきた圧倒的多数の移民が会おうアメリカの原風景だった。アメリカの人口構成はここ百年で大幅に変わった。人々は世界のあらゆる所からやって来た。移民の数は十九世紀末になってから急速にふえた。なぜこのようにふえたのか？

何よりもヨーロッパでの生活が苦しかったからだ。

アメリカへ渡ろうと決意した人たちの動機にはいくつかあった。政治的独裁者や②専制君主の圧政を逃れるためとか、ビジネス上の行き詰まりとかである。最大の動機は一口で言えば「飢え」であった。アイルランドの大飢饉^{だいききん}などはこうした移民を加速した。やむにやまれぬ脱出であった。

とにかく故郷を捨てて、見たこともない土地へ行くという決心をするまでには、私たちの想像もつかない覚悟が要ったことだろう。

恵まれた少数の人々を除いて、実に多くの人たちは、あるいはヨーロッパ大陸から、あるいはリヴァプールなどのイングランドの港から、貨物と一緒に船底に積まれて海を渡った。換気が悪いので窒息しそうになり、一日に一回は甲板に出て新鮮な空気を吸わねばならなかった。船で出される食事はもうそれは貧しいもので、船ゆれもひどく、食べた物を吐いたり、病気になる人、寝込む人、X死ぬ人も多かった。何日間も見るのはただ空と水ばかりだった。人々は、何でもよい、陸地が見たい、緑が見たいという気持ちになった。

それだけに、ニューヨークの港に着いて、自由の女神の像を見た時の感激はひとしおだった。この像は長くつらい過去への訣別^{けつべつ}のあかしであり、「自由」と「希望」の象徴であった。だがこの「自由」の像を目のあたりにしても、彼らはまだ自由ではなかった。ニューヨーク港の中にあるエリス島の移民局で、彼らはきびしい入国審査を受けねばならなかった。入国③カン理官たちは、ほうほうの思いで辿り着いた人々に対して、次々に質問を發した。

国で借金を踏み倒していないか、犯罪歴はないか、Yアメリカに身元引受人はいるか、といったものであった。答える方は必死だった。ここで

一つでも答えに失敗すれば、送り返される。送り返される祖国にはもはや希望はない。あらゆる家財道具を売り払い、わずかばかりの現金にかえて船に乗りこんだのだ。故国に帰っても耕す畑も住む家もなかった。質問に無事答えたとしても、それで十分とはいえなかった。病気ににかかっていないかも厳しく診断された。新世界は健康な労働力のみを欲していたからだ。伝染病に感染している人々は、衣服に印をつけられて送り返される運命にあった。人々はなんとしても、自由の女神の背後にあるマンハッタンまで辿り着かねばならなかった。④エリス島からマンハッタンまでの一マイルは、彼らにとつて

「世界で最も長い水域」であった。

こうした死ぬような思いでようやく入国を許されたとしても、彼らを待ち受けている社会はけっして甘く優しいものではなかった。先に来ていた連中

はあとからやってきた安い労働力に職場を奪われることを恐れた。先に来ていた者たちは、自分たちと同じような苦しい思いでやってきた新参者たちに、共感を感じつつもまた警戒感も抱いていた。この仲間意識と警戒感、今もアメリカ人の心の奥深く巣くう感情である。

みんな生きるのに必死だった。隣人は話す言葉も違えば、好みの食物も奉じる価値観も違っていた。宗教的な背景も違っていた。神を拝むにしても拝みかたの儀式が違えば、どうしても人間は他人を「異質」と思いがちになる。

あんなにも「自由」に憧^{あこが}れてアメリカにやってきたものの、人々は孤独であった。このアメリカ人の内なる「孤独」は誰でもがひきずっている感覚である。極端な場合は隣近所はみんな他人なのだ。

日本のようにゆるやかに移りゆく四季に恵まれ、徹底的な対立や議論を好まず、白か黒かを明確にしない社会は、ある人々にとってはいらいらする社会かもしれないが、多くの人々にとっては ^a フラジャー で住みよい社会である。何だかんだといっても、周囲がみんな日本人という安心感の中で暮らせる日本は、緊張の少ない社会だ。ここには言葉や理屈を超えたあたたかさがある。

Z

アメリカは違う。理性を超えたぬくもり、理屈を超えた肌のあたたかさなどは、複合国家アメリカでは期待しにくい。

*

の世界は

民族や種族に固有のもので、それは異民族との間には通用しない。異なる民族的・人種的背景を背負った人々を束ねてゆくためには、どうしても理性的な規範が必要になる。それは「アメリカ人」としての意識であり、万人に共通に適用されるべき「法」や「正義」の世界だ。情感や人間的愚行を超えた一段上の理念に支配される社会は冷たく窮屈である。正義とか法とかは人間が理性で作りに上げた世界だ。それは時に人間の本来の姿とは遠いのではないが、だが新世界に着いた人々が頼れるのは、抽象的な法と正義の世界であり、「アメリカ人」という共通の感覚でしかなかった。日本的ぬくもりと微温的な世界とはまったく違う世界だった。

③ 新世界で問題を解決してくれるのは「法」だけであった。

それも及ばない場合、自らを守ってくれるのは「銃」であった。今アメリカにいる弁護士の数に国民一人あたりでは日本の十倍である。弁護士たちは、たえず訴訟に持ち込むたねを探し、人々に訴訟に持ち込むことをすすめる。

だからアメリカは訴訟社会になっていく。なにかあると、隣人から訴訟されかねない。片時も緊張を解けない。家の前の雪を掻^かいていなかったために、隣人がすべて怪我をしたら、訴えられるのは雪掻きをしなかった家の者である。隣人はいつ原告になるかわからぬ社会なのだ。

これだけの緊張がコミュニケーションといわず、職場といわず続いているのである。これだけの ^b テンション にさらされれば誰だって精神に疲労を覚える。彼らは勤務が終わったあと、精神分析医の門をくぐる。ホームドクターをもつように、誰もが自分の相談相手としての精神分析医 ^c サイカヤトリスト を持っているのだ。

「自由」という言葉を聞いた時に、日本人が思い浮かべる内容はなんといっても漠然としており、抽象的である。人々は自由についてさまざまなイメージを持っている。大体この言葉が力を得たのは、アメリカ占領軍の日本駐留とともにであった。いわば外から与えられたものであり、自らが血を流してかちとったものではなかった。

日本とアメリカの⑦摩サツの根本は、最も大事なキーワード「自由」一つの中にもこれだけ深く埋め込まれている。そして我々が自由という言葉を口にする時、その背後にある「④孤独」と緊張感を理解しないでは、けっして「自由」を理解したことにはならないだろう。

廣淵升彦『スヌーピーたちのアメリカ』より

問1 二重傍線部⑦⑧のカタカナにあてはまる漢字と同じ漢字を、カタカナの部分に用いるものはどれか。それぞれ後の①②③の中から一つ選びなさい。

⑦専セイ 解答番号 23

- ① 選手宣セイを行う ① セイ造業で働く ② 選挙セイ度を調べる ③ ごセイ聴ありがとうございました

⑧カン理 解答番号 24

- ① 排水カンを交換する ① 弱カン十八歳で優勝する ② 部活にカン誘する ③ 音楽をカン賞する

⑨摩サツ 解答番号 25

- ① 元気に挨サツする ① 野鳥をサツ影する ② 人事をサツ新する ③ 傷口に薬を塗サツする

問2 空欄 X・Y・Z に入る言葉として最も適当なものを、それぞれ後の①～③の中から一つ選びなさい。

X 解答番号 26

- ① だから ① あるいは ② つまり ③ だが

Y 解答番号 27

- ① そして ① つまり ② だから ③ たとえば

Z 解答番号 28

- ① ゆえに ① 一方で ② つまり ③ だが

問3 波線部 a「ファジー」・b「テンション」の意味として最も適当なものを、それぞれ後の①～③の中から一つ選びなさい。

a ファジー 解答番号 29

- ① おおらかで心優しい
① 平和で争いを好まない
② いいかげんでだらしない
③ あいまいではつきりしない

b テンション 解答番号 30

- ① 緊張や不安
① 興奮や高揚
② 反省や後悔
③ 敵意や攻撃

問4 傍線部①「ニューヨークの港に立つ自由の女神の像」は、移民にとってどのような存在だったか。最も適当なものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。

解答番号 **31**

- ① 多くの移民たちの故郷である、ヨーロッパを思い出させる存在。
- ② 故郷を捨てつらい船旅を経て、やっと辿り着いた自由を表す存在。
- ③ 厳しい入国審査の前に、気を引き締めることをうながす存在。
- ④ 隣人を温かく迎え入れてくれる、アメリカ社会を体現する存在。

問5 傍線部②「エリス島からマンハッタンまでの一マイルは、彼らにとって『世界で最も長い水域』であった」とあるが、その理由として最も適当なものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。

解答番号 **32**

- ① 長い船旅で疲れ切った移民にとって、慣れない異国で移動するのは一マイルでも大変だったから。
- ② 自由の女神を目にした移民にとって、本当に自由になれるマンハッタン到着は待ち遠しかったから。
- ③ ようやくアメリカに辿り着いた移民にとって、入国を許される前にさらに困難が待ち受けていたから。
- ④ 入国審査を終えた移民にとって、マンハッタンに着くことは祖国との永遠の別れを意味していたから。

問6 空欄*に入る言葉として最も適当なものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。
解答番号 33

- ① 情念 ① 理論 ② 信仰 ③ 現実

問7 傍線部③「新世界で問題を解決してくれるのは『法』だけであった」とあるが、その理由として最も適当なものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。

解答番号 34

- ① 徹底的な対立や議論を好まず、白か黒かを明確にしない新世界では、厳格な法だけが効力を持っていたから。
② 異なる民族的・人種的背景を背負った人々を束ねるため、万人に共通に適用される法が必要だったから。
③ 日本的ぬくもりと微温的な世界を排除するためには、その一段上の理念に支配されねばならなかったから。
④ 人間が理性で作り上げた抽象的な正義や法だけが、すべての問題を解決できるものだったから。

問8 傍線部④「孤独」とあるが、アメリカ人の感じる「孤独」はどのようなことからきているか。その説明として、適当ではないものを次の①～③の中から一つ選びなさい。

解答番号 35

- ① 入国審査で犯罪歴や病歴を細かく調べられ、一個人として信用してもらえないということ。
② 同じような苦しい思いでやってきた移民に仲間意識を感じつつも、警戒感を持たざるを得なかったということ。
③ つねに異質な他人に囲まれ、いつ訴えられるか分からない緊張から逃れられないということ。
④ 理性を超えたぬくもりや、理屈を超えた肌のあたたかさの持つ意味を共有しづらいということ。

問9 本文の内容に合致するものを、次の①～③の中から一つ選びなさい。

解答番号 **36**

- ① 自由の女神は移民が出会うアメリカの原風景であり、この像を目にすることで名実ともに「自由」と「希望」を実感することができた。
- ② アメリカの移民たちは言語や理屈を超えたあたたかさを嫌い、価値観も宗教も違う他者の中で生きるという厳しい道を自分で選んだ。
- ③ 抽象的な法と正義の世界を信用できないアメリカ人は精神的に疲弊し、精神分析医に相談することによってどうにか自我を保っている。
- ④ 日本人とアメリカ人の「自由」に対する考え方は全く異なっており、それは両国間に起こる軋轢あつれきの根本とも深く関係している。